

土手の自然がアレチウリに支配される！？ 多摩川下流のアレチウリ調査

大田区立矢口小学校5年 日比仁菜

1. 研究の動機

私はよく家族といっしょに多摩川の土手に遊びに行きます。妹と私で動き回るから、土手の様子はよく見ていました。

アレチウリは、去年の秋に多摩川土手の水ぎわで見つけました。きっかけは、秋なのに土手の景色が茶色くないことに気づいたことでした。普通はすすきなどが生えていたところに緑の植物がありました。最初はかわいい植物だなと思っていました。けどよくよく見ると、他の植物にツタが絡みついて、絡みつかれた植物はおおいつくされて日があたらなくなり枯れていました。不思議に思い、スマートフォンのアプリで調べたところ「アレチウリ」と出てきました。

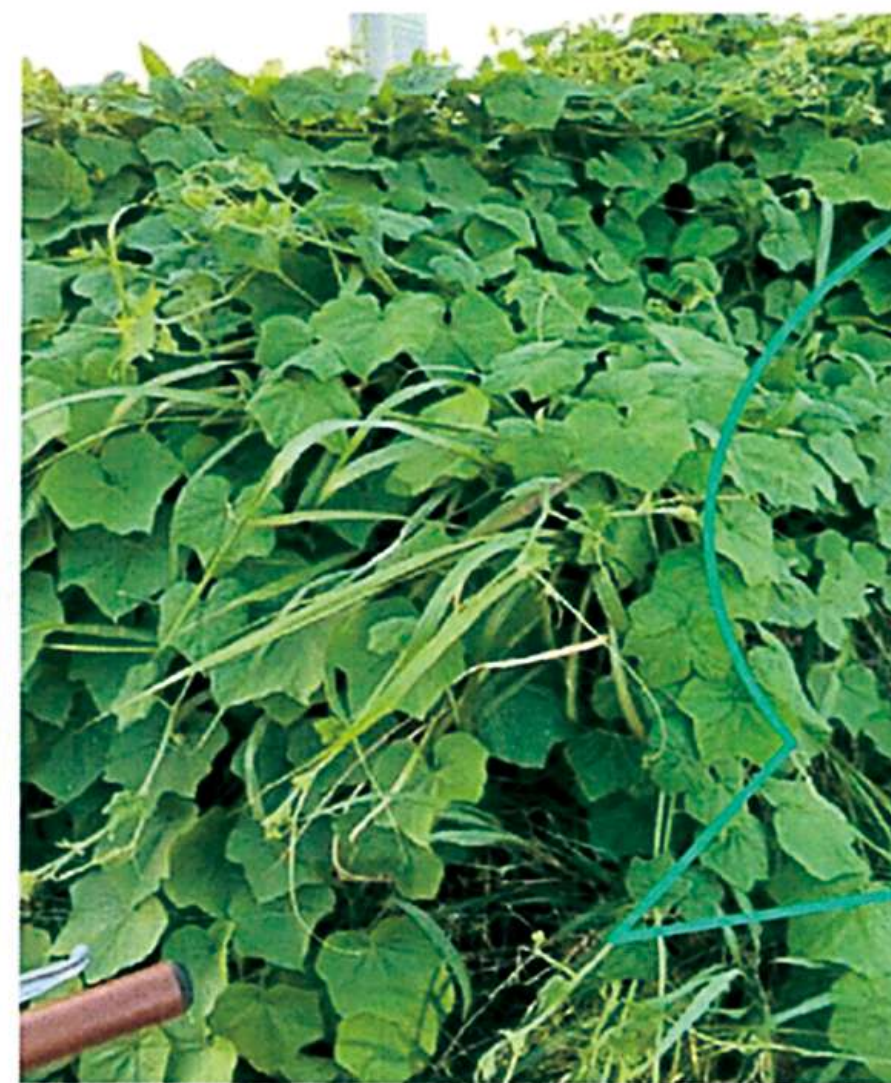
アレチウリのことを調べていくと、このままだと土手の他の植物が全部枯れてしまうんじゃないかと心配になり駆除のきっかけになればと思って、実際今、土手のアレチウリはどうなっているのか、今回の自由研究で調べました。

2. アレチウリとは

ウリ科で北アメリカ原産

特定外来生物

葉や茎などに細かいトゲを
つけます。
特に実はデニムを
つきやぶるほど硬さです。



アレチウリの名前の由来は、
とても生命力が強く、
荒地にも生えることができるのと、
他の植物を枯らして
荒地にしてしまうことから
ついたと言われています。

つるはとても長く、
長いもので**10m以上!**
このつるで他の植物に絡み付き
葉で覆いかぶさります。

昭和27年頃、静岡県清水港で輸入された穀物に混じって来たと考えられ最初の生育例と確認されました。特定外来生物のため、生育地域からの持ち出しは禁止です。駆除する場合は根っこから抜きその場で30分以上天日干しをし、可燃ゴミとして処分します。

アレチウリはこうやって他の植物を枯らす！



どちらも多摩川土手。まず、他の植物に覆いかぶさるように生え、そして日光が当たらなくなり光合成ができなくなり、枯れてしまいます。木にもツルが絡み付いて枝がたれさがっていきます。多摩川の土手にはアレチウリに覆われてぺたっと緑になっているところがたくさんあります。その下には枯れた植物が下敷きになっています。

3. 調査の内容

- ・多摩川下流（ガス橋から六郷川鉄橋まで）でアレチウリがどれくらい生えているのかの調査をします。
- ・多摩川の自然についてかかれた過去の本を探し、自然の変化について考えます。

4. 予想

アレチウリは広い範囲にまばらに生えている？

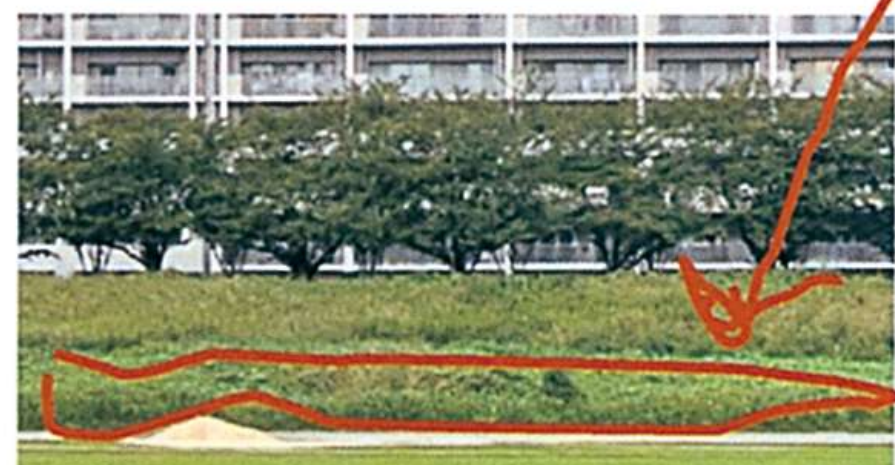
5.ガス橋から六郷川鉄橋まで、アレチウリの分布を調査



調査範囲

観察結果

水際に多く生えると思っていたら
ガス橋から多摩川清掃工場まで
斜面に生えていました！
さらに下流に広まりつつあります。



すごく大きな木がアレチウリ
におおわれていて
お化けみたいでした。



葉が虫に強い

アレチウリは
ほぼ虫に
食われていません。

すぐ隣にある
他の植物たちは
たくさん虫に食われています。



外来種同士、
アレチウリやブタクサ、オオアレチノギクは
まざらずに別々のところに生えています。

①ガス橋付近 アレチウリ度90%



②多摩川清掃工場付近 85%



③水門付近 75% 部分的に生えています。



④多摩川大橋付近 40% いろいろな植物が混ざっています。



⑤ブタ公園付近 98% 地面が覆いつくされてぺったりしています。



⑥トミンタワー前 55% 木にも覆いかぶさっていました。



⑦川の大きなカーブの曲がり角 62%



⑧六郷グラウンド脇 10% ブタクサが多かったです。



⑨六郷川鉄橋付近 20% 他の植物や木などであまりありません。



6.アレチウリは多摩川にいきなり出現したの？

私が見つけれられた資料では、1994年に出された本にはすでにアレチウリが多摩川の中流・下流にも生えているという記載がありました。別の本では、2001年、多摩川の下流の植物でアレチウリを含む帰化植物は3分の1以上とも書かれていました。2001年9月の多摩川の洪水でさらに分布が広まったそうです。

もしかしたら、2019年の台風19号のときの多摩川の洪水でも、アレチウリの種が流れてさらに広まったのかもしれないです。だから私が去年はじめて気づいたのかもしれないです。

7.研究のまとめ

予想に反して、ガス橋から六郷橋まで水際にはほとんど途切れることなく生えていました。ほぼ100%覆い尽くされているところもたくさんあり、さらに、これまで生えていなかった斜面にも広がってきていました。アレチウリのいろいろなところにトゲが生え、そりすべりなどができなくなったらかなしいです。そして、今回調べてびっくりしたのは、実はアレチウリの他にもブタクサやオオアレチノギクの外来種で土手がほとんど占められていることでした。